会報
てんりゅう

2025年
9月15日
第143号

(一社)天竜建設業協会　浜松市天竜区二俣町鹿島491-5　☎(053)926-1562　FAX(053)925-6468
電子メールアドレス jimutyo@tenkenkyo.net　ホームページ http//www.tenkenkyo.net/
編集・発行 広報委員会　題字 長谷川智彦

阿多古川　瀬戸渕

清流阿多古川の中でも知る人ぞ知る特別な名所です。
太陽の光によってエメラルドグリーンに輝く神秘的な場所です。また、
上流側には滝があり竜神伝説が語られ鎮魂の碑が建立されています。

CONTENTS

協会ニュース…… 2
特集　「夏休み親子現場見学会」…… 4
ちょっとおすすめグルメ／かんとくさん …… 6
建設ギャラリー／最近のキーワード …… 7
マイファミリー／コーヒーブレイク …… 8

上期 協会ダイジェスト

令和7年度 定時総会を開催

5月27日に定時総会を開催しました。長谷川会長は、冒頭の挨拶の中で、「昨年度は局地的な大雨やインフラ設備の劣化などにより起こった災害に、迅速に対応してもらい感謝する。災害への応急復旧対応に対し、浜松市長より協会へ感謝状が贈呈されることとなった。協会としては5年連続の受贈である。本年度も協会一丸となって対応して行きたいと考えているのでよろしくお願いしたい。災害対応について情報発信するため、皆さんに配布した「建設災害応急支援隊（C-DEST：シーディスト）」ステッカーを災害出動の際に重機等に付けてPRしていただきたい。また、静岡県建設業協会等からのアンケートに積極的に回答して、皆さんの意見を伝えていっていただきたい。」と話しました。

長谷川会長

議事に入り、令和6年度事業報告、令和6年度決算案が審議され、いずれも満場一致で可決されました。

安全祈願祭・安全大会を開催

工事事故の撲滅を誓う

7月2日、秋葉神社上社で安全祈願祭と安全大会を開催し、来賓及び会員約40名が参加しました。

長谷川会長が、リスク管理、無事故・無災害を呼び掛けた後、表彰式を行い、優良事業所表彰では村松建設㈱、㈱正久工業、伊藤建設㈱の3社が表彰されました。また、会員から応募のあった安全標語67作品の中から、優秀作品として次の3作品が表彰されました。

○伝えたつもり・直したつもり
「つもり」が積もって　事故招く
（鈴木一枝　㈱森下組）

○目配り　気配り　思いやり
皆で声掛け　ゼロ災害
（宮下睦夫　㈱道林建設）

○後でやろう　の　後はいつ？
その後回しが　命取り
（藤田美晴　㈲藤田建設）

秋葉神社上社での安全祈願祭

浜松市から感謝状受贈

5年連続の受贈

令和6年度に浜松市で発生した土木施設等の災害において、被災直後の応急対応や早期の復旧に貢献したとして、6月19日、浜松市長から協会のほか会員11社に対し感謝状が贈呈されました。協会は5年連続の受贈になります。

感謝状贈呈式

災害危険箇所調査の実施

県・市　各土木事務所に報告

企画青年委員会は、災害発生の恐れのある危険な箇所を歩いて探す調査を、5月中旬～6月中旬にかけて、天竜・龍山・春野・佐久間・水窪の全5地区で実施しました。

この調査は、静岡県浜松土木事務所天竜支局からの協力依頼を受け、平成28年度から実施し、今回で10年目の節目の年でした。

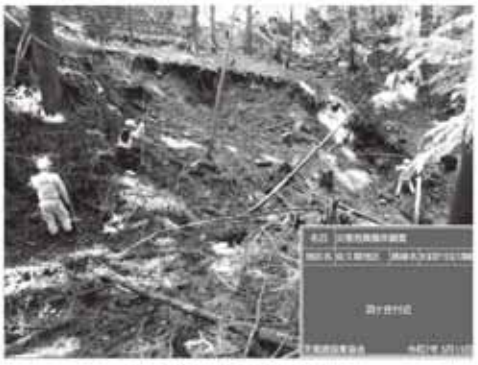
今回は、前年度の危険度A判定（危険度大：早期の現場確認が必要）箇所の再点検と、迂回路での利用が多い路線を中心に調査を実施しました。

各地区からの調査報告は河川・道路の管理者ごとに集計し、県浜松土木事務所天竜支局管轄で38件（天竜9、龍山2、春野23、水窪4）、浜松市天竜土木整備事務所の管轄で127件（天竜42、龍山36、春野32、佐久間14、水窪3）の、全165件でした。（内、危険度判定Aは78件）又、今回は佐久間地区の調査を強化し、それぞれの担当地区を超えて調査を実施しました。

冊子に取りまとめた調査報告書については、柏崎委員長が県と市の各土木事務所へ報告・提出するとともに、危険箇所の事前把握と応急復旧事業への活用を要望しました。

今後も危険箇所調査をより価値あるものに改善更新していけたらと考えています。

最後にこの危険箇所調査を通して、近年増え続けている局地的な豪雨によるインフラ災害への対策、また、地域の安全安心に繋がる活動として今後も継続し、そして、この活動により協会員同士が繋がりを深め、協会活動が更に盛り上がる事を期待します。


災害危険箇所調査

行政機関との意見交換会を開催

設計の精度アップ等を要望

6月、7月に、国（浜松河川国道事務所、天竜川ダム再編工事事務所）、県（浜松土木事務所、西部農林事務所）、市（浜松市土木部、天竜森林事務所）との意見交換会を開催しました。

当協会からは、会員企業が地域の社会資本整備、維持管理、災害対応等の社会的使命を果たしていくために必要な健全で安定的な経営が持続できるよう、予算の持続的・安定的な確保を要望するとともに、適正な労務単価や工期の設定、設計変更時等の早期回答（ワンデーレスポンス）の徹底等をお願いしました。

意見交換会

大盛況!

夏休み親子現場見学会

8月7日に毎年恒例の「夏休み親子現場見学会」を開催しました。今年は11組28人の親子で御前崎港の現場と掛川花鳥園を訪問しました。

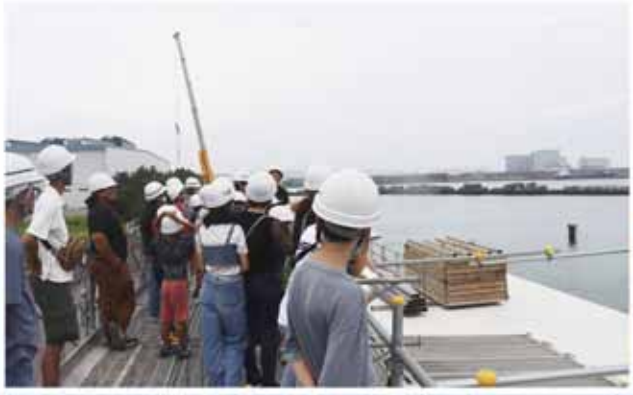
バス内

9時に静岡県北遠総合庁舎を出発！バスの中では「会報てんりゅう」の発行、「夏休み親子現場見学会」の開催、「道路愛護除草」活動の3つの地域貢献事業をはじめとした天竜建設業協会の仕事を紹介し、地域の安心・安全を守るために協会がどのような活動をしているかを改めて知っていただきました。また、私たちの仕事に少しでも興味を持ってもらうために「静岡どぼくらぶ」のDVDを鑑賞しました。映像に登場する重機には子どもたちも興味津々。地域を守るかっこいい仕事だと感じてもらえたと思います。

御前崎港に到着！令和3年に完成したばかりの静岡県御前崎港管理事務所新庁舎の屋上で所長と職員から、管理事務所の事業や施設、津波対策のために推進している工事などについてボードを使いながらわかりやすく教えていただきました。

説明を受けた後は、実際に御前崎港海岸で進んでいる津波対策の胸壁嵩上げ工事の現場を見学しました。ヘルメットもしっかり装着し、いざ足場の上へ。日常では見られない工事現場や大型クレーン、港湾の光景などを子どもも大人も一緒になって楽しみました。

御前崎港での最後のイベントは港内のバスツアー！港には、



胸壁嵩上げ工事現場見学

御前崎港管理事務所屋上

ベルギーやイタリア、ドイツなどに輸出するため翌日に積み込まれる予定のスズキ　スイフトが約2000台も！　普段見れない大量の車に子どもたちも大興奮でした。他にもコンテナの積み卸しを行うガントリークレーンや木材チップなどを荷揚げするためのニューマチックアンローダーなどの超大型重機だけでなく、津波の際に港湾で働く方々が乗り込むための津波救命艇やバイオマス発電所などをバスの中から見学し、なかなか知る機会のない港の仕事についてよく学ぶことができました。

集合写真

御前崎港を後にして、昼食では**「掛川森林果樹公園・アトリエ」**に行きました！自然に囲まれた掛川森林果樹公園の中でビュッフェを楽しみました。地元・掛川や静岡県内の食材をふんだんに使ったできたての料理や地元素材を活かしたスイーツには大満足。午後の予定に向けて準備万端です。

猛禽類を鑑賞

食事も済み、午後からは**掛川花鳥園**を訪問しました。掛川花鳥園は「花と生物とのふれあい」をテーマにしたテーマパーク。総面積10ヘクタール、7，000平方メートルの大温室は国内最大規模！フクロウやペンギン、インコなど可愛い鳥たちに子どもたちの目も輝いていました。園内では、絶滅危惧種で日本でたった12羽しか飼育されていない「動かない鳥」ハシビロコウを見学したり、エボシドリやヘラサギ、オオハシ、トキなどの餌やりを体験したり、熱帯性スイレンやブルグマンシアなどのめずらしい花々を鑑賞したりと各々アクティビティを楽しみました。冷暖房の温室内は涼しいので、真夏でも快適に見学できました。

ハシビロコウ「ふたば」

掛川花鳥園の見学を終え、バスで北遠総合庁舎に無事到着！今年の「夏休み親子現場見学会」も大盛況で終えることができました。子どもたちにとっても夏休みの良い思い出になったと思います。来年以降もたくさんの親子に参加していただきたいです。

餌やり体験

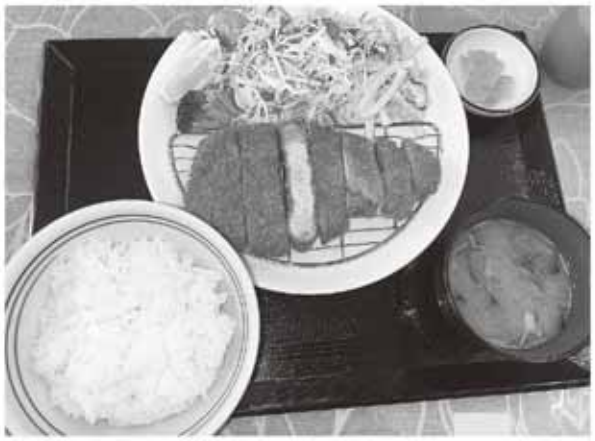
スイレンの花

ちょっとおすすめグルメ

広報委員　伊藤　裕彦

◆「みさくぼっち」◆

水窪町の国道152号線沿い、水窪川のほとりに店を構える「みさくぼっち」を紹介します。コロナ禍で店をたたんでいた親戚の店を昨年の3月にリニューアルオープンさせました。人口減少で食事処もほとんど無くなり、地元の人にも喜んでもらえるようにと、週末限定で営業しています。店主も平日は建設会社で働き、金・土・日を店と実家の農業にとスーパーマンのような働きぶりです。店に入りおすすめを聞くと、「とんかつが評判いいよ。それと、週替わりでの、みさくぼっち定食も」とのことでした。今回はとんかつ定食を注文しました。店内を見渡すと、水窪に関連した写真・絵画・鹿の角などセンス良く飾られています。食事前にゆっくり店内観察も楽しめます。天気の良い日には水窪川を見ながら外で食事もできます。さておすすめのとんかつを食すと肉が柔らかく、衣がサクッとしていてとても美味しかったです。どのメニューも安くてボリューム満点で、食べ応え十分です。残念なのは週末限定も店主が忙しいので不定休な事です。入口の掲示板に今月の営業日が記載されています。お越しの際には電話で確認をお勧めします。



住　　所	浜松市天竜区水窪町奥領家2665-2
営業時間	11:00 ～ 14:00
連 絡 先	080-5105-8224（中山）

かんとくさん

静岡県西部農林事務所
天竜農林局治山課
野末 尚希

本年度から天竜農林局治山課に配属となりました。前の職場は本庁自然保護課、その前は森林・林業研究センターに勤務していました。治山課では、治山工事の監督に加え、森林法に基づき指定された保安林の適正な管理に資するための各種手続きを担当しています。森林の多い天竜区では、建設工事箇所で保安林が関係することも多いため、不明点等がありましたら、ご相談いただければ幸いです。

この原稿を書いている八月中旬にも浜松市で記録的短時間大雨情報が発表される等、近年は異常気象が頻発しています。大変不安である一方、地域の安全を守るため、迅速な復旧作業や対策工事に従事されている建設業者の皆様には心より感謝申し上げます。私も、少しでもお力になれるよう、日々努力して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

建設ギャラリー

工事名	令和6年度一級河川二俣川5年災害復旧（過）工事（5年災査定第68号）（護岸工）
工事箇所	浜松市天竜区山東2地先
工期	令和6年9月19日～令和7年5月16日
発注者	静岡県浜松土木事務所
施工業者	天龍土建工業（株）
施工延長	71m
工事概要	大型ブロック積工483㎡　大型ブロック積基礎工70m　大型ブロック積天端71m 根固めブロック災設置70個　植生工140㎡

〈着手前〉

〈完成〉

当現場は令和5年の台風2号の豪雨で被災した二俣川災害復旧工事でした。

被災は、護岸ブロック基礎下が洗掘され、河川水位が上昇すると共に背面土砂が飽和しました。このため、土砂は基礎下から河川へと流出し、護岸ブロックの中段に水平クラックを発生させました。

復旧は、被災した護岸ブロックを取壊し、厚みのある大型ブロックを用い、根入れを深くした工法で施工しました。

発注者と、国道362号線から最短の工事用搬入路を協議し、地権者の承諾により設置できました。車両の搬入搬出時はバック誘導なく安全で、かつ作業効率良く施工が行え、関係者のご理解と、ご協力により無事に完成する事が出来ました。

最近のキーワード「酷暑」

8月6日、静岡市で観測史上最高気温41・8度に迫る41・4度を記録した。だが、観測史上最高気温は前日の8月5日に群馬県伊勢崎市で観測されたもので、2日続けて観測史上最高気温を更新したということになる。酷暑が続いているということだ。

異常気象という言葉を初めて耳にしたのは子供のころだったが、今は耳にすることも少なくなった。かつての異常は今、日常になってきているからだろう。酷暑も大雨ももはや毎年のことだ。

6月1日から、近年の猛暑による労働災害の増加に対応するため、労働安全衛生規則が改正され事業所における熱中症対策が義務づけられた。対策を怠った場合、労働安全衛生法違反となり、罰則が科される可能性がある。つまり、建設業にとって熱中症対策は義務であり責任となった。

先日、屋根・板金を手掛ける企業の経営層とWBGT値（暑さ指数）の話題になった。指数が31以上になったら可能な限り作業を中断するのが望ましいとされているが、屋根・板金作業では、屋根に上った時点で31を超えていることはめずらしくないという。頻繁に休憩をとってはいるが、作業の進捗との調整が難しいと言っていた。40度を超える気温が頻発する状況で屋外の作業が大変なものであることは想像に難くない。

この先、建設業はどう変わっていくのだろうか…。日本の夏はどんどん長くなっている。6月から10月は30度近い気温が観測される日も多い。気象も異常が日常になってきたように、作業時間や賃金体系など考えていかなければならないのではないだろうか。夏場は夜間や早朝作業の一般化、夏場手当を積算に盛り込むよう義務化するなど対策を講じなければ、建設業の人材確保は難しくなってくるのではないだろうか。公共・民間事業を問わず、発注者にはぜひ考慮していただきたいものだ。

My Familly

㈱竜栄組
森口　淳

毎度お馴染みの我が家のねこさんです。

こちらのねこさんは、二年前に社屋向いの駐車場にて保護したねこさんです。生まれて間もない彼女は、極度の脱水症状で動物病院の先生には今夜が山だと言われたほどでしたが、懸命の看護のお陰で持ち直し、その後はすくすくと成長して参りました。翌年屋根裏にて生まれついた三匹のねこさん達の育ての親として、食事もトイレも常に三匹を見守って自分は一番最後というねこさんの常識を覆すような優しさを兼ね備え、弊社社屋にてのほほんと暮らしています。

そんな彼女は、人に対しての警戒感が無いのかいつ抱き上げても全力で脱力して応対をしてくださり、抱き心地は最高です。「ねこは液体」なんて表現をすることもありますが正に液体のような抱き心地です。そして世界中のねこ好きさんが憧れる肉球ぷにぷにも望むだけさせていただきます。

社屋の周りにはまだまだ沢山の野良ねこさんが徘徊していますが、この子達は弊社の一員として来客者をおもてなししています。

COFFEE BREAK

天竜商工会春野支所
渡邊 美佑

こんにちは。

天竜商工会春野支所の渡邊美佑です。

短期大学を卒業後、地元である春野町を離れて一般企業にて5年間勤務し、今年4月より入職いたしました。地域の温かさに触れながら、地元のために働くことができることへの喜びと、地元の魅力とを日々感じております。

異業種から転職をしたため慣れないことばかりではありますが、上司や先輩からご指導をいただき、会員様や地域の皆さまから頼りにしていただける職員となっていく所存です。

将来的には会員様へのご支援や地域課題への解決に向けた提案などができるようになりたいと思っております。そのためにも、先輩方から多くのことを学び、知識を深め経験を積んでいきたいと思います。

未熟な点が多くある私ですが、明るい笑顔と誠実な対応で会員様や地域への「お役立ち」ができる存在となれるように努力してまいります。

地域でのイベント開催の際には、ぜひご来場いただけますと幸いです。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

建設事業主のみなさま

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

❶電子申請方式とは
証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです

❷電子申請方式の申し込み方法は
電子申請方式申込書をダウンロードし建退共静岡県支部

電子申請方式のメリット
①金融機関で証紙を購入する必要はありません
②手帳への証紙貼付や下請への現物交付が不要
③共済証紙受払簿の作成・管理が不要
④新規手帳申込等がオンライン申請できます
⑤加入履行証明願の作成が負担軽減

【電子申請方式の操作方法についてのお問合せ先】TEL0120－006－175　平日9:00～17:00
建退共静岡県支部　〒420-0851　静岡市葵区黒金町11－7－12階　TEL 054-255-6846